

(様式第9)

海大病第 661 号
平成21年10月2日

厚生労働大臣

殿

北海道大学病院長 浅 香

北海道大学病院の業務に関する報告について

標記について、医療法第12条の3の規定に基づき、平成20年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	120.25人
--------	---------

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
→ 別紙参照(様式第12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績
→ 別紙参照(様式第13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	244人	252人	445.6人	看護業務補助	52人	診療エックス線技師	0人
歯 科 医 師	108人	40人	140.0人	理学療法士	10人	臨床検査技師	70人
薬 剤 師	37人	2人	38.5人	作業療法士	6人	衛生検査技師	0人
保 健 師	0人	0人	0.0人	視能訓練士	4人	その他	0人
助 産 師	36人	0人	36.0人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看 護 師	757人	27人	777.9人	臨床工学技士	14人	医療社会事業従事者	14人
准 看 護 師	1人	0人	1.0人	栄 養 士	0人	その他の技術員	6人
歯科衛生士	13人	0人	13.0人	歯 科 技 工 士	6人	事 務 職 員	172人
管理栄養士	7人	0人	7.0人	診療放射線技師	49人	そ の 他 の 職 員	30人

- (注) 1 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

- 8 入院患者、外来患者及び調剤の数
歯科、矯正歯科及び小児歯科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合 計
1日当たり平均入院患者数	807.79人	21.95人	829.74人
1日当たり平均外来患者数	2,328.38人	689.23人	3,017.60人
1日当たり平均調剤数	711.3 剤		

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

1 先進医療の届出受理の有無及び取扱い患者数

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
高周波切除器を用いた子宮腺筋症核出術	有・ <input type="radio"/> 無	人
膝靭帯再建手術における画像支援ナビゲーション	有・ <input type="radio"/> 無	人
凍結保存同種組織を用いた外科治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
胎児心超音波検査	有・ <input type="radio"/> 無	人
インプラント義歯	有・ <input type="radio"/> 無	人
顎顔面補綴	有・ <input type="radio"/> 無	人
顎関節症の補綴学的治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
経皮的埋め込み電極を用いた機能的電子刺激療法	有・ <input type="radio"/> 無	人
人工括約筋を用いた尿失禁の治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
光学印象採得による陶材歯冠修復法	有・ <input type="radio"/> 無	人
経皮的レーザー椎間板減圧術	有・ <input type="radio"/> 無	人
造血器腫瘍細胞における薬剤耐性遺伝子産物P糖蛋白の測定	有・ <input type="radio"/> 無	人
スキンドファイバー法による悪性高熱症診断法	有・ <input type="radio"/> 無	人
CTガイド下気管支鏡検査	有・ <input type="radio"/> 無	人
先天性血液凝固異常症の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
筋強直性又は筋緊張性ジストロフィーのDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
SDI法による抗悪性腫瘍感受性試験	有・ <input type="radio"/> 無	人
三次元形状解析による顔面の形態的診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
HDRA法又はCD—DST法による抗悪性腫瘍感受性試験	有・ <input type="radio"/> 無	人
子宮頸部前がん病変のHPV—DNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
腹腔鏡下肝部分切除術	有・ <input type="radio"/> 無	人
悪性腫瘍に対する陽子線治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
エキシマレーザーによる治療的角膜切除術	有・ <input type="radio"/> 無	人
成長障害のDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
門脈圧亢進症に対する経頸静脈肝内門脈大循環短絡術	有・ <input type="radio"/> 無	人
乳房温存療法における鏡視下腋窩郭清術	有・ <input type="radio"/> 無	人
声帯内自家側頭筋膜移植術	有・ <input type="radio"/> 無	人
骨髄細胞移植による血管新生療法	有・ <input type="radio"/> 無	人
ミトコンドリア病のDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
鏡視下肩峰下腔徐圧術	有・ <input type="radio"/> 無	人
神経変性疾患のDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
難治性眼疾患に対する羊膜移植術	有・ <input type="radio"/> 無	人
重粒子線治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
脊椎腫瘍に対する腫瘍脊椎骨全摘術	有・ <input type="radio"/> 無	人
31P—磁気共鳴スペクトロスコピーとケミカルシフト画像による糖尿病性足病変の非侵襲的診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
神経芽腫のRNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
重症BCG副反応症例における遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
骨軟部腫瘍切除後骨欠損に対する自家液体窒素処理骨移植	有・ <input type="radio"/> 無	人
膝腫瘍に対する腹腔鏡補助下膝切除術	有・ <input type="radio"/> 無	人
低悪性度非ホジキンリンパ腫の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
悪性脳腫瘍に対する抗悪性腫瘍剤治療における薬剤耐性遺伝子解析	有・ <input type="radio"/> 無	人
Q熱診断における血清抗体価測定及び病原体遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
エキシマレーザー冠動脈形成術	有・ <input type="radio"/> 無	人
活性化Tリンパ球移入療法	有・ <input type="radio"/> 無	人
家族性アルツハイマー病の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
膀胱尿管逆流症に対する腹腔鏡下逆流防止術	有・ <input type="radio"/> 無	人
三次元再構築画像による股関節疾患の診断及び治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
泌尿生殖器腫瘍の後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術	有・ <input type="radio"/> 無	人
HLA抗原不一致血縁ドナーからのCD34陽性造血幹細胞移植	有・ <input type="radio"/> 無	人
頸椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによるCT透視下の経皮的椎間板減圧術	有・ <input type="radio"/> 無	人
ケラチン病の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
隆起性皮膚線維肉腫の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
末梢血幹細胞による血管再生治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
末梢血単核球移植による血管再生治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
一絨毛膜性双胎妊娠において発症した双胎間輸血症候群に対する内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術	有・ <input type="radio"/> 無	人
カラー蛍光観察システム下気管支鏡検査及び光線力学療法	有・ <input type="radio"/> 無	人
先天性銅代謝異常症の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
超音波骨折治療法	<input checked="" type="radio"/> 有・無	0人
CYP2C19遺伝子多型検査に基づくテラーメイドのヘリコバクター・ピロリ除菌療法	有・ <input type="radio"/> 無	人
非生体ドナーから採取された同種骨・靭帯組織の凍結保存	有・ <input type="radio"/> 無	人
X線CT画像診断に基づく手術用顕微鏡を用いた歯根端切除手術	有・ <input type="radio"/> 無	人
定量的CTを用いた有限要素法による骨強度予測評価	有・ <input type="radio"/> 無	人
膀胱水圧拡張術	有・ <input type="radio"/> 無	人
色素性乾皮症に係る遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
先天性高インスリン血症に係る遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
歯周外科治療におけるバイオ・リジェネレーション法	有・ <input type="radio"/> 無	人
セメント固定人工股関節再置換術におけるコンピュータ支援フルオロナビゲーションを用いたセメント除去術	有・ <input type="radio"/> 無	人
腹腔鏡下直腸固定術	有・ <input type="radio"/> 無	人
骨移動術による関節温存型再建	有・ <input type="radio"/> 無	人
肝切除手術における画像支援ナビゲーション	有・ <input type="radio"/> 無	人
樹状細胞及び腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法(腫瘍抗原を発現する消化管悪性腫瘍)	有・ <input type="radio"/> 無	人
自己腫瘍・組織を用いた活性化自己リンパ球移入療法	有・ <input type="radio"/> 無	人
自己腫瘍・組織及び樹状細胞を用いた活性化自己リンパ球移入療法	有・ <input type="radio"/> 無	人
リアルタイムPCRを用いた迅速診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術	有・ <input type="radio"/> 無	人
多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術	有・ <input type="radio"/> 無	人
先天性難聴の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
フェニルケトン尿症の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
培養細胞による先天性代謝異常診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
腹腔鏡下子宮体がん根治手術	有・ <input type="radio"/> 無	人
培養細胞による脂肪酸代謝異常症又は有機酸代謝異常症の診断	有・ <input type="radio"/> 無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術	有・ 無	人
悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断	有・ 無	人
腫瘍性骨病変及び骨粗鬆症に伴う骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術	有・ 無	人
悪性黒色腫又は乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	有 ・無	0人
カフェイン併用化学療法	有・ 無	人
胎児尿路・羊水腔シャント術	有・ 無	人
筋過緊張に対するmuscle afferent block(MAB)治療	有・ 無	人
胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	有 ・無	0人
腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	有 ・無	0人
内視鏡下甲状腺がん手術	有・ 無	人
骨腫瘍のCT透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法	有・ 無	人
下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療法	有・ 無	人
胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術	有・ 無	人
早期胃がんに対する腹腔鏡下センチネルリンパ節検索	有・ 無	人
副甲状腺内活性型ビタミンD(アナログ)直接注入療法	有・ 無	人
乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	有 ・無	44人

(注)1 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

2 先進医療で上の表に掲げられていないものを行っている場合は、空欄の部分に記入すること。

2 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱い患者数	疾患名	取扱い患者数
・ベーチェット病	342人	・モヤモヤ病(ウイリス動脈輪閉塞症)	141人
・多発性硬化症	163人	・ウェゲナー肉芽腫症	27人
・重症筋無力症	116人	・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	113人
・全身性エリテマトーデス	634人	・多系統萎縮症	89人
・スモン	2人	・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	14人
・再生不良性貧血	118人	・膿疱性乾癬	10人
・サルコイドーシス	339人	・広範脊柱管狭窄症	0人
・筋萎縮性側索硬化症	38人	・原発性胆汁性肝硬変	132人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	313人	・重症急性膵炎	6人
・特発性血小板減少性紫斑病	197人	・特発性大腿骨頭壊死症	133人
・結節性動脈周囲炎	70人	・混合性結合組織病	51人
・潰瘍性大腸炎	195人	・原発性免疫不全症候群	58人
・大動脈炎症候群	75人	・特発性間質性肺炎	22人
・ピュルガー病	44人	・網膜色素変性症	45人
・天疱瘡	77人	・プリオン病	0人
・脊髄小脳変性症	239人	・原発性肺高血圧症	15人
・クローン病	102人	・神経線維腫症	72人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	19人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・悪性関節リウマチ	31人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	2人
・パーキンソン病関連疾患	472人	・特発性慢性肺血栓栓症(肺高血圧型)	18人
・アミロイドーシス	16人	・ライソゾーム病(ファブリー[Fabry]病)含む	6人
・後縦靭帯骨化症	189人	・副腎白質ジストロフィー	0人
・ハンチントン病	0人		

(注)「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

3 病院・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	①. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 ②. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。		
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	24 件		
剖 検 の 状 況	剖検症例数	37 例	剖検率 9.04 %

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
顎骨再生腫瘍制御機構を兼ね備えた細胞応答型DDS担体の開発	柏崎 晴彦	高齢者歯科	1,600,000	補委 科学研究費(基盤C)
ウェアラブル筋電図測定システムを用いた顎関節症患者の覚醒時ブラキシズムの実態解明	山口 泰彦	高次口腔医療センター	3,380,000	補委 日本学術振興会化学研究費補助金
ブラキシズムによる頭頸部筋の慢性疼痛発現メカニズムの解明	岡田 和樹	高次口腔医療センター	1,300,000	補委 日本学術振興会化学研究費補助金
成人難治性造血器腫瘍に対する非血縁者間の同種造血幹細胞移植法の確立に関する研究	今村 雅寛	血液内科	100万円	○補委 厚生労働省
特発性造血障害に関する調査研究	今村 雅寛	血液内科	100万円	○補委 厚生労働省
成人T細胞白血病(ATL)に対する同種造血幹細胞移植療法の開発とそのHTLV-I排除気候の解明に関する研究	今村 雅寛	血液内科	40万円	○補委 厚生労働省
NK受容体発現細胞障害性CD8細胞と免疫制御性CD4細胞の同時増幅とその臨床応用	田中 淳司	血液内科	130万円	○補委 日本学術振興会
同種末梢造血幹細胞移植を非血縁者間で行う場合等の医学、医療、社会的基盤に関する研究	田中 淳司	血液内科	80万円	○補委 厚生労働省
抗リン脂質抗体症候群:病因の解明と新たなる治療ターゲット	小池隆夫	第二内科	6,500,000	補委 文部科学研究費基盤研究(B)
HIV感染症の医療体制の整備に関する研究	小池隆夫	第二内科	5,000,000	補委 厚生労働省エイズ対策研究事業

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
難治性疾患克服研究の評価ならびに研究の方向性に関する研究	小池隆夫	第二内科	1,300,000	補委 厚生労働省難治性疾患克服研究事業
新たな診断・治療法開発のための免疫学的手法の開発	小池隆夫	第二内科	38,000,000	補委 厚生労働省難治性疾患克服研究事業
免疫疾患の病因・病態解析とその制御戦略へのアプローチ	小池隆夫	第二内科	2,000,000	補委 厚労省科学研究費免疫アレルギー疾患等予防・治療研究事業
関節リウマチの関節破壊ゼロを目指す治療指針の確立、及び根治・修復療法の開発に関する研究	小池隆夫	第二内科	2,500,000	補委 厚労省科学研究費免疫アレルギー疾患等予防・治療研究事業
薬剤耐性HIVの動向把握のための調査体制確立およびその対策に関する研究	小池隆夫	第二内科	4,000,000	補委 厚生労働省エイズ対策研究事業
関節リウマチ寛解導入療法体系化に関する研究	渥美達也	第二内科	2,500,000	補委 厚労省科学研究費免疫アレルギー疾患等予防・治療研究事業
関節リウマチにおける生物学的製剤の長期安全性と副作用リスク因子に関する疫学研究	渥美達也	第二内科	300,000	補委 文部科学研究費基盤研究(B)
ANCA関連血管炎のわが国における治療法の確立のための多施設共同前向き臨床研究	渥美達也	第二内科	3,000,000	補委 厚生労働省難治性疾患克服研究事業
自己免疫疾患に関する調査研究	渥美達也	第二内科	2,400,000	補委 厚生労働省難治性疾患克服研究事業
膠原病の生命予後規定因子である肺合併症の診断及び治療法の再評価と新規開発に関する研究	保田晋助	第二内科	2,000,000	補委 厚労省科学研究費免疫アレルギー疾患等予防・治療研究事業

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
自己免疫疾患におけるRasGRPファミリー分子の発現検討	保田晋助	第二内科	1,400,000	補委	文部科学研究費基盤研究(C)
小児・思春期(若年)発症2型糖尿病患者の合併症発症率の経年的全国調査	吉岡成人	第二内科	250,000	補委	厚生省科学研究費
脂肪細胞内におけるPerilipinの脂肪分解制御機構と肥満・代謝疾患	三好秀明	第二内科	4,260,000	補委	文部科学研究費基盤研究(C)
糖尿病診療均てん化のための標準診療マニュアル作成とその有効性の検証	吉岡成人	第二内科	1,400,000	補委	厚生省科学研究費
多発性嚢胞腎モデル動物の作製と薬効評価システムの確立	望月俊雄	第二内科	1,700,000	補委	文部科学研究費基盤研究(C)
Sec63コンディショナルノックアウトマウスを使用した腎嚢胞、肝嚢胞の解析	西尾妙織	第二内科	9,620,000	補委	文部科学研究費若手研究(A)
さっぽろバイオクラスター“Bio-S”「認知機能改善研究グループ:認知症診断バイオマーカー探索と神経変性抑制作用素材開発」	佐々木秀直	神経内科	700万円	補委	文部科学省
正常圧水頭症の疫学・病態と治療に関する研究	佐々木秀直	神経内科	50万円	補委	厚生労働省
重症難病患者の地域医療体制の構築に関する研究	佐々木秀直	神経内科	90万円	補委	厚生労働省
運動失調症に関する調査研究	佐々木秀直	神経内科	120万円	補委	厚生労働省

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
				補	委
神経変性疾患に関する調査研究	佐々木秀直	神経内科	100万円	補	厚生労働省
筋萎縮性側索硬化症の病態に基づく画期的治療法の開発	佐々木秀直	神経内科	90万円	補	厚生労働省
治験の実施に関する研究[酢酸リュープロレリン]	佐々木秀直	神経内科	380万円	補	厚生労働省
遺伝性脊髄小脳変性症における病態機序の解明と新規生化学的指標の固定	矢部一郎	神経内科	120万円	補	文部科学省
多発性硬化症の病態における神経栄養因子の関与の解明	新野正明	神経内科	135万円	補	文部科学省
スモンに関する調査研究	矢部一郎	神経内科	70万円	補	厚生労働省
メラノーマとリンパ管のinteraction－転移促進因子は産生されるのか？－	堤田 新	形成外科	4,700,000	補	日本学術振興会
浸潤型ケロイド細胞は存在するのか！－効率的なケロイド治療を目指して－	佐々木 了	形成外科	9,400,000	補	日本学術振興会
ダイオキシン類介在性アンドロゲン受容体分解による前立腺癌細胞増殖抑制	丸山 寛	北海道大学 腎泌尿器外科	2,210,000円	補	日本学術振興会
高精度治療技術による低リスク高線量放射線治療に関する臨床研究	白土博樹	放射線科	20,000,000	補	厚生労働省

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
X線マイクロビーム加速器による次世代ミニマムリスク型放射線治療システムの研究開発	白土博樹	放射線科	27,900,000	補委	NEDO
4次元定位放射線治療の基礎	白土博樹	放射線科	9,300,000	補委	文部科学省
心血管ストレス応答におけるミトコンドリア活性酸素シグナル制御	筒井裕之	循環器内科	24700000	補委	文部科学省
メタボリックシンドロームにおける運動能力低下の分子機構の解明と治療への応用	絹川真太郎	循環器内科	2470000	補委	日本学術振興会
メタボリックシンドロームにおける冠血管内皮機能障害の評価と有効な治療法の確立	納谷昌直	循環器内科	2600000	補委	文部科学省
特発性心筋症に関する調査研究	筒井裕之	循環器内科	1100000	補委	厚生労働省
慢性心不全におけるメタボリック症候群の意義に関する研究	筒井裕之	循環器内科	1000000	補委	厚生労働省
ヒスタミンと心不全の関連についての検討-H2レセプターブロッカーは心不全を改善するか	筒井裕之	循環器内科	1000000	補委	厚生労働省
大規模発現解析より得られた新規酵素心臓特異的ミオン軽鎖キナーゼ(cardiacMLCK)を利用した心不全治療薬・診断マーカーの開発	筒井裕之	循環器内科	1000000	補委	厚生労働省
動脈硬化性疾患の危険因子の性差と予防に関するコホート研究	筒井裕之	循環器内科	1000000	補委	厚生労働省

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
致死性遺伝性不整脈疾患の遺伝子診断と臨床応用	蒔田直昌	循環器内科	2500000	補 委 厚生労働省
心筋内血液量の定量による心不全治療の効果予測に関する研究	山田聡	循環器内科	1000000	補 委 日本超音波医学会
心肥大・心不全の発症・進展における酸化ストレスの役割に関する研究	筒井裕之	循環器内科	1500000	補 委 国立循環器病センター
全身麻酔後の悪心・嘔吐に対する術中低血圧の影響	黒住 章弘	歯科麻酔科	2,700,000	補 委 文部科学省
高齢者プロポフォール静脈内鎮静法におけるTCIポンプを用いた新しい管理方法の検討	藤澤 俊明	歯科麻酔科	700,000	補 委 文部科学省
延髄痛覚情報伝達システムの可塑性における免疫組織化学的手法による三次元的解析	詫間 滋	歯科麻酔科	2,700,000	補 委 文部科学省
PARsとVEGFが関与する敗血症性臓器不全発症機序解明とその制御法の確立	丸藤 哲	医学部侵襲制御医学講座救急医学	9,100千円	補 委 日本学術振興会 科学研究費補助金
敗血症性脳症の病態解明	澤村 淳	医学部侵襲制御医学講座救急医学	1,950千円	補 委 日本学術振興会 科学研究費補助金
重度歯周炎罹患歯の残存歯根膜を根面に増殖させた歯とBMPの移植による歯周組織再生	齋藤 彰	第二保存科	1,300千円(直接) 390千円(間接)	補 文部科学省
BMPと細胞の複合移植によって水平性骨欠損の歯周組織再生量の増大を目指す研究	齋藤 恵美子	第二保存科	800千円(直接) 240千円(間接)	補 文部科学省

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
根面のBMP塗布とコラーゲンスキャフォールド移植による歯周組織再生療法の開発	宮治 裕史	第二保存科	1,100千円(直接) 330千円(間接)	補	文部科学省
接着性レジン上にセメント質再生を伴う垂直破折歯根接着治療法の開発	田中 佐織	第二保存科	800千円(直接) 240千円(間接)	補	文部科学省
口腔からQOL向上を目指す連携研究	菅谷 勉	第二保存科	500千円	委	新潟大学
有機酸誘導体と生体高分子から構成される医療用接着剤の歯科応用	川浪 雅光	第二保存科	2,000千円	委	オリンパス
骨髄間質細胞シートとBMP含有コラーゲンスポンジの併用移植による骨新生	井上 加菜	第二保存科	500千円	委	クラーク財団
ラットを用いた成長ホルモン投与による新生児慢性肺疾患治療効果の解析	長 和俊	周産母子センター	1,000,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
前向きコホート研究による先天異常モニタリング、特に尿道下裂、停留精巣のリスク要因と内分泌かく乱物質に対する感受性の解明	水上 尚典	産科・周産母子センター	4,620,000	補 委	厚生労働省科学研究費補助金
抗がん剤をはじめとするヌクレオシド系薬物のトランスポーター介在輸送と薬効との関係	菅原 満	薬剤部	1,430,000円 (うち間接経費 330,000円)	補 委	日本学術振興会
精神疾患患者における薬剤に対する認知とアドヒアランス、心理検査との相関性の検討	久保田康生	薬剤部	400,000円	補 委	日本学術振興会
難治性内因性ぶどう膜炎再発機序に関する分子遺伝学的検討	北市伸義	眼科	1,300,000円	補 委	日本学術振興会

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
熱ショック蛋白質の積極的誘導による眼炎症の制御	北明大洲	眼科	1,560,000円	補委 日本学術振興会
平成20年度基盤研究(B) 歯根膜の血管新生機構に対する機械的刺激の役割と加齢によるその常態変化	飯田 順一郎	矯正科	2,990,000円	補委 科学研究費補助金
平成20年度基盤研究(C) ナノマテリアルを応用した歯科矯正用FRP審美ワイヤーの開発	山方 秀一	矯正科	2,340,000円	補委 科学研究費補助金
平成20年度若手研究(B) pooled DNAタイピングを用いた骨格性下顎前突症の疾患感受性遺伝子の同定	梶井 貴史	矯正科	1,430,000円	補委 科学研究費補助金
こころの健康科学研究事業 反復磁気刺激によるパーキンソン病治療の確立	生駒一憲	リハビリテーション科	1,000,000	補委 厚生労働科学研究費補助金
こころの健康科学研究事業 高次脳機能障害者に対する地域支援ネットワークの構築に関する研究	生駒一憲	リハビリテーション科	1,200,000	補委 厚生労働科学研究費補助金
高次脳機能障害者支援事業(リハビリ支援コーディネート事業)	生駒一憲	リハビリテーション科	2,244,580	補委 北海道受託事業
基盤研究(A) 人・機械・相互適応システムの構築に関する研究	生駒一憲	リハビリテーション科	1,300,000	補委 科学研究費補助金
基盤研究(B) 機能的MRIを用いた脊髄損傷者の運動野に関する機能的な研究	生駒一憲	リハビリテーション科	1,820,000	補委 科学研究費補助金
基盤研究(B) 力学的環境変化により生じる膝蓋腱マトリクス改変現象の人為的制御に関する統合的研究	遠山晴一	リハビリテーション部	3,510,000円	補委 科学研究費補助金

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
化学物質リスク研究事業 ポリエチレン微粒子により惹起される異物性炎症反応のバイオイメージングによる可視化に関する研究	遠山晴一	リハビリテーション部	1,000,000円	補委 厚生労働科学研究費補助金
経頭蓋直流電気刺激による高次脳機能障害の治療及びKM式安全運転助言検査と医学的評価を組み合わせた頭部障害患者における自動車運転の可否の検討	伊藤武哉	リハビリテーション科	985,200	補委 日本損害保険協会一般研究助成
経頭蓋直流電気刺激反復経頭蓋磁気刺激を用いた高齢脳外傷患者における高次脳機能障害に対する治療法の開発	竹内直行	リハビリテーション科	653,398	補委 日本損害保険協会一般研究助成
若手研究(B) 脳波解析と反復経頭蓋磁気刺激によるブレイン・マシンインターフェイスモデルの開発	竹内直行	リハビリテーション科	2,860,000	補委 科学研究費補助金
運動野固有周波数を用いた脳卒中後運動麻痺に対する両側反復経頭蓋磁気刺激法の開発	竹内直行	リハビリテーション科	2,000,000	補委 財団法人医科学応用研究財団
難治性気道疾患への新たな挑戦ー病態、診断、治療へのアプローチー	西村 正治	第一内科	3,400千円	補委 科学研究費(基盤研究(B))
マトリックスメタロプロテアーゼ誘導因子制御による難治性肺疾患への介入	別役 智子	第一内科	1,100千円	補委 科学研究費(基盤研究(C))
慢性喫煙と加齢が肺泡マクロファージアポトーシス細胞食能に与える影響	南須原 康行	第一内科	1,400千円	補委 科学研究費(基盤研究(C))
慢性閉塞性肺疾患(COPD)の発生機序、診断	西村 正治	第一内科	1,300千円	補委 科学研究費(厚生労働科研)
気管支喘息の有病率・罹患率およびQOLに関する全年齢階級別全国調査に関する研究	西村 正治	第一内科	3,000千円	補委 科学研究費(厚生労働科研)

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
気道リモデリング、肺気腫形成におけるオステオポンチンの関与	今野 哲	第一内科	1,800千円	補委 科学研究費(基盤研究(C))
肺障害・修復機構における再生上皮細胞の意義	小田島 奈央	第一内科	1,200千円	補委 科学研究費(若手研究(B))
疾患早期診断のための糖鎖自動分析装置開発	西村 正治	第一内科	3,000千円	補委 受託研究
糖鎖シグナルの異常による肺気腫の発生機構の解明と治療戦略	別役 智子	第一内科	3,000千円	補委 科学研究費(厚生労働科研)
うつ病の認知病理に関する神経生理学的研究-前部帯状皮質の認知神経科学的アプローチ-	久住 一郎	精神科神経科	3,640,000(うち間接経費840,000)	補委 文部科学省科学研究費補助金
扁桃体を介した情動ストレスの神経化学的機序から気分障害の病態・発症機序を解明する	井上 猛	精神科神経科	1,950,000(うち間接経費450,000)	補委 文部科学省科学研究費補助金
ストレス脆弱性の脳内分子基盤-気分障害と神経細胞新生の関連に着目して-	中川 伸	精神科神経科	1,950,000(うち間接経費450,000)	補委 文部科学省科学研究費補助金
治療抵抗性統合失調症動物モデルにおける電気けいれん療法的作用機序に関する検討	伊藤 侯輝	精神科神経科	1,300,000(うち間接経費300,000)	補委 文部科学省科学研究費補助金
司法精神医療の適正な実施と普及のあり方に関する研究	小山 司	精神科神経科	29,000,000	補委 厚生労働省精神・神経疾患研究委託費
統合失調症患者における社会知覚および意思決定課題遂行の機能画像の検討	久住 一郎	精神科神経科	1,400,000	補委 厚生労働省精神・神経疾患研究委託費

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
双極性うつ病の難治化に関する研究	久住 一郎	精神科神経科	2,800,000	補委 厚生労働省精神・神経疾患研究委託費
難治性うつ病に対するドパミン関連薬剤の効果とその効果予測因子に関する研究	井上 猛	精神科神経科	1,100,000	補委 厚生労働省精神・神経疾患研究委託費
プライマリーケアで使用可能なDNAチップを用いたうつ病の診断指標の作成	中川 伸	精神科神経科	2,000,000	補委 厚生労働省精神・神経疾患研究委託費
3D scaffold with carbon nanotube coated sponge	平田恵理	咬合系歯科	150,000円	補委 財団法人北海道大学クラーク記念財団平成20年度博士後期課程在学生海外派遣助成
カーボンナノチューブを三次元スキャホールド及び表面修飾として用いた口腔組織の再建	横山敦郎	咬合系歯科	4,100,000円	補委 平成20年度日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究B)
ナノ微粒子の体内動態可視化法の開発	横山敦郎	咬合系歯科	1,100,000円	補委 平成20年度厚生労働科学研究費補助金
時系列解析による咬合、全身姿勢、重心動揺および身体機能の関連性解明	坂口究	咬合系歯科	2,900,000円	補委 平成20年度日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究C)
高血糖期間の差がインプラント体埋入初期の周囲組織に与える影響	山本薫	咬合系歯科	1,350,000円	補委 平成20年度日本学術振興会科学研究費補助金(若手研究(スタートアップ))
カーボンナノチューブを三次元スキャホールド及び表面修飾として用いた口腔組織の再建	横山敦郎	咬合系歯科	4,100,000円	補委 平成21年度日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究B)
無歯顎症例における顎堤形態に応じた適切な咬合面形態の最適形状決定法による検討	高山芳幸	咬合系歯科	2,200,000円	補委 平成21年度日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究C)

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
インプラント埋入初期におけるオッセオインテグレーション獲得を阻害する原因の解明	堀内留美	咬合系歯科	2,400,000円	補委 平成21年度日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究C)
時系列解析による咬合、全身姿勢、重心動揺および身体機能の関連性解明	坂口究	咬合系歯科	500,000円	補委 平成21年度日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究C)
基盤研究B「子宮体癌の新しい分子標的治療開発のためのp53変異とp63, p73の機能解析」	櫻木 範明	婦人科	4,810,000	補委 日本学術振興会
基盤研究C「BMPアンタゴニストを用いた癌間質相互作用の制御による癌治療戦略の検討」	首藤 聡子	婦人科	1,690,000	補委 日本学術振興会
「進行・再開子宮頸癌に対する標準的治療体系の確立に関する研究」	櫻木 範明	婦人科	600,000	補委 久留米大学
「子宮体癌に対する標準的科学的療法の確立に関する研究」	櫻木 範明	婦人科	1,000,000	補委 慶應義塾大学
ダブルネットワークゲルが生体内で誘導する関節軟骨自然再生現象の分子機序の解明	安田 和則	医学研究科 運動機能再建医学分野	20,800,000円	補委 (独)日本学術振興会
高機能ダブルネットワークゲルがin vivoで関節軟骨の自然再生を誘導する分子機序の解明	安田 和則	医学研究科 運動機能再建医学分野	50,000,000円	補委 (財)武田科学振興財団
除負荷による膝蓋腱マトリクス再構築現象を制御する分子動態の解明	北村 信人	医学研究科 運動機能再建医学分野	1,950,000円	補委 (独)日本学術振興会
磨耗粉により生じるオステオライシスにおけるMIFの関与とDNAワクチンによる制御	小野寺 伸	医学研究科 運動機能再建医学分野	1,690,000円	補委 (独)日本学術振興会

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
低酸素状態を反映する新しいPET診断による口腔癌治療戦略	北川 善政	北海道大学大学院歯学研究科 口腔診断内科学教室	3,300,000	補委 文部科学省
嚥下に関与する筋群のエネルギー代謝と筋病理学的研究	北川 善政	北海道大学大学院歯学研究科 口腔診断内科学教室	1,200,000	補委 文部科学省
低酸素領域の分子イメージングに基づいた口腔癌治療戦略	北川 善政	北海道大学大学院歯学研究科 口腔診断内科学教室	1,000,000	補委 テルモ科学振興財団
口腔扁平上皮がん再発のリスクファクターとしてのp53ファミリーの意義	石川 誠	北海道大学病院 高次口腔医療センター 障害者歯科	1,500,000	補委 文部科学省
ヒト舌癌に対する癌特異的発現増強アデノウィルスベクターの開発	葛巻 哲	北海道大学病院 口腔系歯科口腔内科	1,900,000	補委 文部科学省
遺伝子操作で作成した血管新生抑制因子産生細胞の移植による抗血管新生療法の開発	七戸俊明	第二外科	6,900,000円	補委 文部科学省
外科系医療技術修練の在り方に関する研究	近藤 哲	第二外科	1,829,136円	補委 厚生労働省
バーチャルスライドシステムを用いたがんの病理診断支援のあり方に関する研究	松野 吉宏	病院病理部	16,456,000	補委 厚生労働省科学研究費
悪性胸膜中皮腫の診断および治療法の確立とアスベスト曝露の実態に関する研究	松野 吉宏	病院病理部	1,000,000	補委 厚生労働省科学研究費
がん診療を標準化するための病理診断基準の確立に関する研究	松野 吉宏	病院病理部	1,000,000	補委 厚生労働省がん研究助成金

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。